

## 越前市実行委員会ニュース VII

越前市実行委員会事務局

原子力防災計画を考える越前市民の会

〒915-0813 越前市京町1-4-33

「もう動かすな原発！ 県民署名」

◆現在も続行中！◆

<http://fukuikenminsyomei.web.fc2.com/>

<http://genpatuzero.web.fc2.com/>

### 川内原発再稼働！

8月11日、川内原発が再稼働しました。未だ福島原発事故の避難者は11万人。猛暑のこの夏も「節電」の一言も無く。。 原発不要論が過半数に達する中での再稼働です。

経済最優先の政策であるが、それも一たび事故が起こればその経済的被害たるや甚大（福島で現在12兆円超）。この後もどれだけ増えるのか。それも国民負担で。

国内ゼロでは原発輸出も格好が付かないし。。これでは経済優先というより企業優先。事故の検証も責任もあいまいなまま見切り再稼働。動かせば必ず増える核のゴミはどうするのか。福島事故、国民の声は国には届かないのか。福島の教訓は生かされないのか。

**私たちの会が提出した「高浜原発3・4号機運転再開に反対する意見書」は3月議会に続き6月議会も継続審査に。なぜ？**

#### **越前市議会6月定例会、原発の運転延長反対意見書を可決**

そのような中、越前市議会は、6月定例会最終日（7月2日）、「運転開始から40年を経た原子力発電所の運転期間延長を行わない事を求める意見書」を最大会派の中の3議員が提出。採択の結果、賛成14人、反対7人で可決しました。

#### **越前市議会は、福島事故以来3回に渡って脱原発の意見書を可決しています**

同議会は、福島事故後の12年6月に大飯原発3、4号機の再稼働について西川知事に対して慎重な対応を求め全会一致で意見書を可決。また同年3月には同じく拙速な再稼働に反対する意見書を、11年6月には政府に対し脱原発の意見書を全会一致可決しています。

◆議会は本気で脱原発をめざしているのか？ 原発問題は会派間の政争の具ではない！ ◆

議員提出の意見書は可決。市民団体が提出した請願は「継続審査」。何がどう違うのでしょうか？

## ＝ 市長への公開質問状、回答届く(5月18日提出) ＝

前回のニュースVI(5月発行)でお知らせしたように、会では去る5月18日、4,650筆の市長への署名を提出し、併せて「署名の要請趣旨」について担当職員と意見交換しました(\*前号ニュース参照)。

この時も残念ながら市長は欠席のため、市長に対し質問状(内容は署名の要請趣旨です)を提出し、8月12日郵送でその回答を得ました。

質問状の提出は昨年8月に続いて2回目です。1回目の回答の内容は、残念ながら8万2千市民の財産と生命を守る市長として誠実かつ真摯に向き合ったものではなく、すり替えやはぐらかしたようなもので全く受け入れ難いものでした。今回の回答は以下の通り。

### 【越前市からの回答文】

#### 質問1. 原発事故時に、市民を放射能から守ることをどのようにお考えですか？

**回答** 安全確保については国が一元的に責任を有しているため、住民の安全と安心を最前線で守る市として、徹底した安全対策と防災対策を講じるよう国・県に対し強く要望しているところ。

- (1) 福島原発事故の徹底した検証と総括を実施し、原子力発電所の安全が確保できるよう万全の対策を講じるとともに、住民に対する的確な情報提供を行う。
- (2) 原子力防災の実効性を高めるために、国の原子力災害対策指針や県の広域避難計画要綱における未解決課題の方針を早急に示すとともに、市町村だけでは解決のつが困難な課題について、国・県が連携して支援すること、ならびに原子力防災対策の充実にとともなう財源を確実に措置すること。

**【疑問点】:** 万全な対策とは? 「的確な情報提供」とは? 言葉が遊んでいます。この春市内全戸配布された「家庭防災対策ガイド」の原子力災害対策においても通り一遍の説明で、何ら「万全の対策」は講じられていません。避難基準の送料500マイクロシーベルトがどの位の高線量であるのかが示されていない(因みに2時間で法令に定められている年間被ばく線量の1ミリシーベルトに達する)。職員も含め被爆に向き合う真剣な姿勢が見られません。国・県に要望だけではなく、市独自でできる対策に尽力を。

#### 質問2. 電力会社と「立地並み安全協定」締結の具体策とその障害について如何お考えですか？

**回答** 原子力発電所の安全確保や周辺地域の環境放射能等に関する情報の共有化を図るため、UPZ圏内に位置するすべての自治体と事業者の連携を法的に位置づけるとともに、自治体と事業者の役割分担やかかわりなど安全協定のあり方について総合的に検討するよう、国・県に対し強く求めているところ。

**【疑問点】:** 市民・住民を守ることが市の第一の責任。この問題にもっと関心を持ってもらうための手立てを本気で講じているのでしょうか？

#### 質問3. 県内原発の運転再開に異議はありませんか？

**回答** 原発再稼働の判断にあたっては、福島第一原子力発電所での重大事故も発生を受け、徹底した検証に基づく原子力発電所の安全対策と防災対策の充実強化に加え、中長期的な我が国のエネルギー政策について国民的な議論を尽くし国民の合意を図ることが必要と考えている。

**【疑問点】:** 他人ごとのようです。市民の安心安全を守る市長としての思いが伝わってきません。誠意が伝わってきません。自分の言葉で語らない奈良市長にこれ以上の回答を求めても無駄？

## ＝ 県が、県内各施設に避難訓練の実施を要請 ＝

昨年8月、県は原子力災害時の避難計画について、県内の学校・病院等施設で100%完了したと発表しました。その際、多くの関係者から「一方的に作れと言われたから、一応マニュアル通り作って提出したが、全く実効性のないものだ。」との声を聞きました。

そしてこの7月には県から避難訓練の実施を要請があったとのこと。これに対しても学校や施設の関係者からは「リスクを負った人たちは避難なんてできない。」「県や市が中心となり、原発事業者も一体になってまずは公立の施設で模範訓練を実施して欲しい。」などの声を多数耳にします。尤もなことです。一般市民でも不可能に近い避難。まして病院や施設等での避難は非現実的で関係者の戸惑い、悩は深いと思います。

再稼働が無ければこのようなことにかかるエネルギーから解放されます。会としても引き続き声を出していきたいと思います。

「川内原発に続き、次は福井の高浜3・4号機」と言われ、今年11月再稼働を目指しています。

### ドキュメンタリー映画 「日本と原発」上映会 報告

去る6月21日(日)・22日(月)・23日(火)の3日に渡り上記の映画を上映しました。この映画は、大飯原発訴訟団の河合弁護士初め映画作りには全くの素人の弁護士達が、止むに止まれぬ思いで制作したものです。上映にあたっては「原子力防災計画を考える越前市民の会」「南越地区平和センター」「丹南自治研」が実行委員会を立上げ呼び市民に呼びかけ、3会場(21・22日は越前市福祉健康センター、23日は13時半から今立生涯学習センター)には合計約300余名の市民が来場しました。

## 安全保障法安関係イベント

### 落合 恵子 講演会 報告

#### ～ 人権の平和の世紀に向けて ～

去る7月5日(日)13時半から武生商工会議所パレットホールのお会場の約400人の市民の参加を得て落合恵子講演会「人権と平和の世紀に向けて」を開催致しました。

今回の講演会は「原子力防災計画を考える越前市民の会」「武生9条の会」「丹南地区平和センター」などが実行委員会をつくって行動しました。

講演の中で落合さんは憲法や原発、沖縄などについての考えを述べられ、「最後の一人になっても私は声をあげ続ける」と結びました。そして最後に、澤地久恵さん(作家)が全国に向けて呼びかけている「アベ部政治を許さない!」の行動への参加を呼び掛けました。

それに応えて7月19日(日)13:30から全国一斉に行われたこの行動に、越前市や鯖江市でも多くの市民・団体が金子兜太さん(俳人)が揮毫した「アベ政治を許さない!」のカードを手に声を上げました。

#### **全国で今、新しい動きが!**

情報過疎の福井県では、なかなかニュースになりませんが、この6月から毎週金曜の夜、国会前で「SEALDs」(シールズ/自由と民主主義のための学生緊急集会)というグループが安全保障法案への抗議を続けています。2万人規模とのこと。全国でも若者や市民の間でこのような活動が芽生えてきました。若いお母さん達も子どもの手を引いて声を上げています。

私たち福井県内でも老若男女・個人・各界各層・団体、そして複数の団体がつながって行動始めています。

## ストップ！ 安保法制

### 憲法違反の安全保障法制度改悪反対 8・23 福井県集会

「戦争はイヤだ・安保法制改悪反対・憲法9条を守ろう」など平和を願う人は誰でも参加できます。

日時：8月23日（日）午後2時

場所：福井市西公園（福井市花月1丁目大谷派東別院北隣）

圧倒的多数の国民が安保法制案改革の反対を表明しています。国会周辺では連日国会請願やデモが行われています。県内でも21人の弁護士の呼びかけによる「安全保障法制反対」の呼びかけに、宗教界・学者・大学教授・医師・教員・芸術家などによる賛同の輪が大きく広がっています。「いつか来た道」を繰り返さないために。

上記の集会に先立ち、去る7月1日（水）県内弁護士の呼び掛けで、フェニックスプラザに約550人が集まり「安保法案廃案へ」の集会が開催されました。県内弁護士の他、市民団体、政党などが集まりました。冒頭、弁護士を代表して海道宏実弁護士が「法案は、平和主義・立憲主義に反している」と挨拶しました。

## 平和と戦争を語る集い

日時 9月5日（土）13：30～

場所 越前市市民ホール

私たちの会も実行委員会に参加しています。

\* 詳しくは、同封のチラシ参照

◆ たくさんの方々のご参加をお待ち致しております ◆

### 安倍談話に思う

戦後70年となる、今年の終戦記念日の8月15日を前にして、安倍首相の談話をTVで聞きました。キーワードとされた4つの文言は入っており、一先ずホッとしたものの、最後まですっきりしない思いで聞いていました。それは終始「過去の内閣」言葉を引用するだけで「自分はこうなんだ」という自らの言葉が全くなく、さらにそれを受け「積極的平和主義を」強くアピールしたように思ったからです。

全体的に他人ごと（仕方なしに言っている）のようで上滑っているように感じました。また、「次の世代に謝罪を続ける宿命を負わせてはならない」との言葉にも違和感を持ちました。当然、解決は真摯に早急に果たすべきですが、謝罪の気持ちは未来永劫、持ち続けるべきです。私はこの談話に言葉とは裏腹の空虚なものに感じました。

多くの国民が反対している「アメリカと一緒に戦争ができる国にするための」の安全保障法案。今こそいろんな団体そして個人がしっかり繋がって反対の声を大きなものにしたいと思います。（大久保）

＝ 越前市議会、安全保障法制見直し反対の意見書可決 ＝

越前市議会は6月定例会議会最終日の7月2日の本会議で、国に対し安保方法制見直しに対する反対の意見書を賛成14、反対7で可決しました。